



祝 卒業生343名 さらに飛躍を期待します！

<卒業式式辞抜粋>

厳しい冬の寒さも日増しに和らぎ、校庭の木々にも春の訪れが感じられるこの佳き日に安田学園高等学校第95回卒業式を迎えることとなりました。

本日晴れの日を迎えられた343名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは本校の校訓「誠実・明朗・奉仕」を拠り所として、「自ら考え学び創造的学力・人間力を身に付け、グローバル社会に貢献する」(自学創造)の教育目標に沿って、日常の勉学やクラブ活動、並びに生徒会活動を中心にかけがえのない青春を充実させるべく、研鑽の日々を積み重ね、本日、晴れて卒業の日を迎えました。

これは、勿論、皆さん一人ひとりの努力の賜物ではありますが、同時に昼夜を問わず、温かい愛情を持って励まし支えて来られましたご家族や先生方、同窓会など多くの方々のご援助のお陰でもあります。感謝の気持ちを忘れることなく、一層の精進を積み重ねるよう期待してやみません。

卒業生の皆さんが過ごした高校生活の最後の2年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大による、世界の混乱と戦いの日々を抜きに語ることはできません。学校現場も例外ではなく、様々な行事や授業が中止や変更を余儀なくされ、大学入試への準備・対策にも数多くの不都合が生じることになりました。皆さんには本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのような大変な情勢が続く中ではありましたが、皆さんは懸命に前を向いて困難に向き合ってきました。勉強やクラブ活動でも最後まであきらめずに前進するという姿勢を後輩たちに立派にみせてくれました。皆さんのこの前向きな姿勢は、「自学創造」を体現する安田学園の象徴であり、我々の誇りです。これからの新しい生活の中でも、このことをぜひ強く意識をしてください。

さて、これからここを巣立つ皆さんに、はなむけの言葉を述べたいと思います。皆さんには、これから未来に向かって強く歩み続けて欲しいと思います。その未来には何が待ち受けているのでしょうか。成功と幸せばかりの人生ではなく、失敗や不運な出来事に遭遇するかもしれません。思い通りにいかないこと、努力が結果に結びつかないこともあるはずですが、そんな時こそ、本校の校訓「誠実・明朗・奉仕」に照らして自らを省みてみてください。その中で最も大切なものは「誠実」だと思います。自己中心的でずるいことをしていないか、自分に都合の悪いことを周囲のせいにして恨んだり他人の不幸を願ったりしていないか、不完全な自分を自覚して謙虚に学び続ける姿勢があるか、壁にぶつかって悩んでいる時に振り返ってみてください。そして、自己の誠実さに確信を持つことができた時、笑顔で前に進んで行けば必ず道は開けていきます。

これから皆さんが進む目の前には、激しく変化する社会が待ち受けています。大きな変化の時代の時は誰もが不安を口にします。しかし、リーダーとなるものは常に前を向いて改革にチャレンジしていかなければならないのです。大きな変革の時代であるからこそ、命をかけるにふさわしい大きなやりがいのある仕事ができるチャンスがあるのです。このすばらしいチャンスを手にし、様々なことにチャレンジし、充実した生活を送ることができるという意味で、皆さんの前には、幸運な人生が待っているのです。皆さんは十分それを実現できる人物であると信じています。新しい時代は、皆さんが作り上げるのです。どうか、安田学園で身に付けた「自学創造」と「誠実・明朗・奉仕」の精神をもって、常に前を向いて一步を進めて欲しいと思います。